

港中学校 授業Ⅰ 地理的分野学習指導案

- 1 実施日時 平成17年11月18日(金) 10:50~11:40
- 2 学級 1年2組
- 3 授業者 教諭 築瀬一爾 加藤幸也
- 4 単元名 神奈川県について調査しよう
- 5 単元目標

- 神奈川県的人口増減に関する調査をとおして、適切な仮説を設定しようとしている。(関心・意欲・態度)
- 社会的事象を多角的に見つめ、神奈川県の特徴を考察することができる。(思考・判断)
- 調査規模の大きさに応じて、適切な資料を用意することができる。(技能・表現)
- 調査・発表をとおして、神奈川県の特徴をまとめることができる。(知識・理解)

6 視点

<子どもを視点として>

小学校では、神奈川県を学習しているが、地図や統計資料を使って神奈川県と他都道府県を比較するような調査活動はあまり経験していない。

中学校では、日本の地域構成の学習をとおして、都道府県の位置と名前、地域区分、地形的特徴、気候などを理解し「日本の都道府県の一つとしての神奈川県」という認識をしている。さらに身近な地域の学習で、横浜市中区に関する調査を実施している。その中で子どもは「中区＝横浜市の一部＝神奈川県の一部」と理解できるようになってきている。すなわち、子どもはこれまでの学びで「神奈川県が日本の都道府県の一つであること」と「横浜市の一部に中区があること」は理解している。しかし、日頃、横浜市を取り上げることが多いので神奈川県のイメージがなかなかふくらまないように思える。

本校では、自分の住んでいる横浜市の場所も知らない子どもから、県内の史跡や観光名所についてくわしく知っている子どもまで、さまざま、知識があってもそれらは断片的であるように思われる。

神奈川県についての知識はこのようであるが、プリント学習の積み重ねにより、統計資料の扱い方や地図帳の利用の仕方など調べるための力はついてきている。また、プリントの最後に自分の考えを記入することを繰り返し行ってきたことで、多くの子どもが学習のまとめとして自分なりの感想や意見を記述できるようになってきている。ここまでの学習で、子どもは最後まであきらめずにねばり強く取り組むことの大切さが少しずつ理解できるようになってきている。さらに、前向きな気持ちをもった子どもも多くなってきている。

<材・方法・評価を視点として>

この単元のはじめに、身近な地域の学習でつくった作品を持ち寄り、身近な地域のようにすから、神奈川県のイメージを発表し合うことにする。子どもの作品そのものを材とすることで、子どもにとってより一層身近に感じられるものとなる。

ここでは、神奈川県の市町村名と位置を確認し、人工衛星から見た神奈川県の地形を大観する。さらに、神奈川県の人口の階級区分図を作成し、地形との関連を考察して仮説を立てる。次に、過去の人口増減率の階級区分図を子どもが作成し、人口の階級区分図と比較する。すると、今までの仮説が必ずしも当てはまらなくなり、新しい理由を探し始める。これは解いていくプロセスが味わえる材となる。これらの資料を取り組みやすいものから難易度の高いものへとステップアップしながら単元を構成する。

方法として、発表や話し合い、調査などさまざまな表現活動を取り入れている。特に同じ形式のプリントを繰り返し記入することにより、学習の方法を身につけ、見通しのあるものになっている。

評価としては、まとめのプリントに教師がコメントを書くことや子どもが互いに発表し合うことで、まわりを意識して、自分の活動や考えを振り返ることができる。

7 単元計画 (10 時間扱い)

時	学 習 活 動	材	方 法	評 価
1	神奈川県イメージを話し合う。	身近な地域の調査で実施したレポート	発表 話し合い	まとめプリント 記入 毎時の教師からのコメント記入を受けての振り返り
2	市町村名や位置を確かめる。	神奈川県の行政区分図	まとめプリント 記入	
3	地形のようすを大観する。	人工衛星から見た神奈川県の写真 神奈川県の掛け地図		
4	人口の階級区分図から仮説を立てる。	市町村別人口数		
5	人口増減率の階級区分図から仮説を立てる。	市町村別人口増減率	発表 話し合い	
6 本 時	人口増減の理由を考える。	今まで作成したまとめのプリント		
7 ～ 10	人口増減の理由を検証する。	図書資料 インターネットからの資料 統計資料など	調査	

8 本時目標

- 神奈川県の人口増減について仮説を立て、意見交換したり、まとめプリントを記入したりしている。 (関心・意欲・態度)
- 意見交換をとおして自分の仮説を見直し、より適切な仮説を考えることができる。 (思考・判断)

9 本時の展開

学 習 活 動	支 援
<p>人口の階級区分図と人口増減率の階級区分図を比較し、数値の高い地域が必ずしも一致しないことを確認する。</p> <p>発表 1 理由を示して、自分なりの仮説を発表する。</p> <p>発表を聞いている子どもは、発表について、わかったことや疑問などをメモし、自分の仮説と一致する点や異なる点を見だし、自分の仮説を考え直す。</p> <p>発表 1 について、意見交換を行う。</p> <p>意見交換を聞いて、自分の考えをメモにまとめる。</p>	<p>発表前に発表希望者をあらかじめ募り、順番を決めておく。</p> <p>発表をする上での留意点と、発表を聞くときの留意点について確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T2 は日本語を母語としない子どもを中心に机間指導する。</p> </div> <p>聞いている子どもに、メモを取ることを促す。</p> <p>発表 1 の発表を要約し、その主張を確認する。</p> <p>自由に意見が述べられるように留意する。必要に応じて、子どもの意見をわかりやすくするために確認したり、言い換えをしたりする。</p> <p>子どもに、考えをまとめるように促す。</p>

発表 2

以下、同様の活動を行う。

発表や意見交換をとおして自分の仮説を見直し、より適切な仮説を考える。

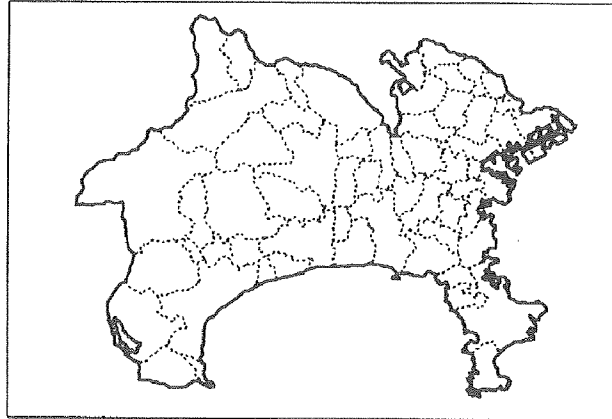
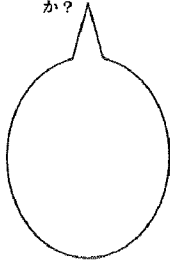
以下、発表 1 の時と同様の支援を行う。

これまでの学習の成果を生かして、よりよい記述になるように助言する。

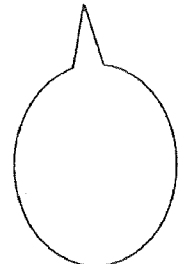
神奈川県について調査しよう 3 (人口編)

※資料を見て、人口が 100 万人をこえる市町村を赤、99 万人から 60 万人の市町村を桃色、49 万人から 40 万人の市町村を黄色、39 万人から 30 万人の市町村を水色、29 万人から 20 万人の市町村を青、19 万人から 10 万人の市町村を黄緑、9 万人から 1 万人の市町村を緑、1 万人未満の市町村を黒で塗ってみよう。

人口が集中している地域にはどんな特徴があるだろうか？



人口が少ない地域にはどんな特徴があるだろうか？



神奈川県の人分布にかんする特色をまとめてみよう

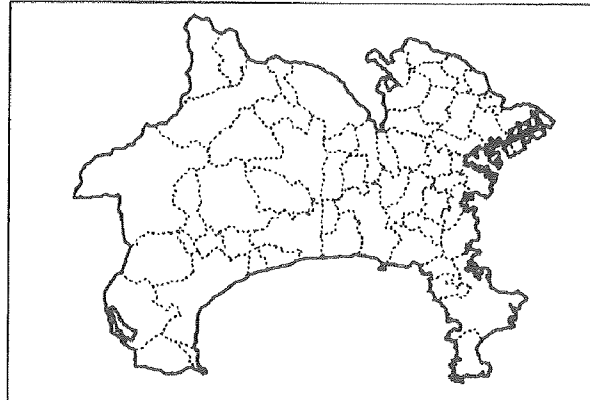
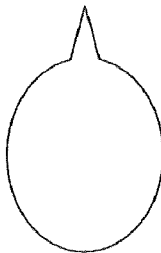
Blank rectangular box for summarizing the characteristics of Kanagawa's population distribution.

興味関心 (A' A B C' C) 思考判断 (A' A B C' C) 資料活用 (A' A B C' C)
1年 組 番 氏名

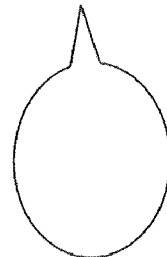
神奈川県について調査しよう 4 (人口編)

※資料を見て、1985 年と 2002 年の人口増加率が 3. 01 以上の市町村を赤、3. 00 から 2. 01 の間の市町村を黄色、2. 00 から 1. 51 の間の市町村を水色、1. 50 から 1. 01 の間の市町村を青、1 を下回る市町村を黒で塗ってみよう。

人口増減が激しい地域は地形に関係があるだろうか？



人口増減が激しい地域は産業に関係があるだろうか？



神奈川県の人分布の変化にかんする特色をまとめてみよう

Blank rectangular box for summarizing the characteristics of changes in Kanagawa's population distribution.

興味関心 (A' A B C' C) 思考判断 (A' A B C' C) 資料活用 (A' A B C' C)
1年 組 番 氏名

単元づくりワークシート

1. 単元名

神奈川県について調査しよう

2. 今までの学び

○小学校で県としての単位として比較的調査経験は知識は市区のレベルのものが多い
 地図を利用した自然地理的調査 統計資料を駆使した調査 経験少ない
 ○日本の姿を確認 → 日本の一部としての神奈川の認識 ○身近な地域調査実施

3. 子どものようす

○日本語を十分話せない児童 ○蓄積した知識量低 ○資料、地図を使う基礎は定着
 ○日本の一部としての神奈川 → **神奈川県** → 神奈川の中の中区 発音しや変換

4. 単元のねらい

神奈川県の地形的特色と各市町村別の人口増減、現在の人口分布と比較など
 自らの神奈川県の特色を導出して問題意識を高めるとともに、地理的条件に沿った
 調査方法や地域の違い(サイズ)を理解する

5. 単元で用意する材・方法・評価

材	方法	評価
<ul style="list-style-type: none"> ① 現在の人口数 ② 過去の人口数 県内の工業地帯地図 県内の農業地帯地図 ① ランサットの神奈川写真 神奈川の地形図 交通網を示す地図 人口増減を示す表 ② 県の行政区分図 外国人居住者示す図 名所旧跡の写真 各地の祭りの写真 分野別統計資料(県別) 分野別統計資料(市町別) 	<ul style="list-style-type: none"> × フィールドワーク ② 調査 <ul style="list-style-type: none"> → ② 班別 → ② 個人 → ② テーマ別グループ 話し合い <ul style="list-style-type: none"> → ② 班別 → ② 学級全体 → ② 同じテーマ ② 討論会 <ul style="list-style-type: none"> → ② 班別 → ② 学級全体 → ② 同じテーマ ② 発表会 <ul style="list-style-type: none"> → ② 個人別 → ② 班別 → ② テーマ別 図書室利用調査 インターネット利用調査 デバート 	<ul style="list-style-type: none"> ② ワークシート記入 ポートフォリオ ② 他生徒の発表を受けての考えの変化 ② 毎時の教師のワークを受けてのふりかえり ② 毎時の反省記入 → 時間的・地理的 <p>※1 解いていくプロセスが 味のある材</p> <p>※2 身近に感じる材 (作品を取り入れる材)</p>

※1
①
準備として

⇒ 調べると下ない

※2

